

2017 年 10 月 4 日

外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITE II」やミラーレス一眼カメラなど 「2017 年度グッドデザイン賞」を 5 製品が受賞

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、オリンパスの5製品が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2017年度グッドデザイン賞」を受賞したことをお知らせします。

●「2017年度グッドデザイン賞」受賞製品



(1)「OLYMPUS OTV-S300」



(2)「OLYMPUS CH-S200-XZ-EA / OLYMPUS CH-S200-XZ-EB」



(3)「OM-D E-M1 Mark II」



(4)「OM-D E-M10 Mark III」



(5)「OM-D System for Professionals」

1. 外科手術用内視鏡システムVISERA ELITE II ビデオシステムセンター「OLYMPUS OTV-S300」

外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITE II」を構成するプロセッサーです。LED光源機能を含む一体型設計で、省スペース化と医療機器の院内移動時の負担軽減に貢献します。また、直感的に操作が可能なタッチパネル式のインターフェイスによりユーザーの使いやすさを向上しています。

2. HD 3CMOS カメラヘッド「OLYMPUS CH-S200-XZ-EA / OLYMPUS CH-S200-XZ-EB」

外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITE II」に使用するカメラヘッドです。当社従来製品と比べて大幅に軽量・小型化することで、術者の片手操作時の使い勝手を向上させています。

3. ミラーレス一眼カメラ「OM-D E-M1 Mark II」

AF/AE追従で最高18コマ/秒の高速連写と有効画素数2037万画素の高画質を実現しています。そして「これまでのミラーレス機の概念を超え、今後の方向性を示したといえるフラッグシップモデル」という点が評価され、「ED 12-100mm F4.0 IS PRO」のレンズ賞と合わせ、「カメラグランプリ2017」で見事三冠を成し遂げました。

4. ミラーレス一眼カメラ「OM-D E-M10 Mark III」

どこにでも手軽に持ち運びできる軽量・コンパクトなボディーでありながら一眼カメラならではの画質撮影が可能です。高性能の5軸手ぶれ補正を搭載し、さまざまな撮影状況において手ぶれを抑えた写真が撮影できます。

5. ミラーレス一眼カメラ「OM-D System for Professionals」

「OM-D E-M1 Mark II」と手ぶれ補正を内蔵したレンズの組み合わせにより、圧倒的な機動性と高画質を提供します。レンズとボディー両方の手ぶれ補正機構による強力な手ぶれ補正とホールディング性、場所を選ばない防塵防滴・耐低温性能などを兼ね備えたプロフェッショナル仕様となっています。

●「グッドデザイン賞」とは



公益財団法人日本デザイン振興会が主催する 1957 年からスタートした総合的なデザインの評価・推奨制度です。グッドデザイン賞を受賞したデザインには「G マーク」をつけることが認められます。「G マーク」は創設以来半世紀以上にわたり、「よいデザイン」を示すシンボルマークとして広く親しまれています。※詳細は Web サイト(<http://www.g-mark.org/>)をご参照ください。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。